

令和4年度 第5回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和4年8月18日（木）午後1時30分～午後4時30分

会 場 下野市役所3階 303会議室

出席委員 教 育 長 石崎 雅也 職務代理者 永山 伸一
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫
委 員 佐間田 香

出席職員 教育次長 近藤 善昭
教育総務課長 上野 和芳
学校教育課長 石島 直
生涯学習文化課長 浅香 浩幸
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 若林 毅
教育総務課課長補佐 神田 晃
学校教育課主幹兼指導主事 土田 礼巳
教育総務課主事 慶留間 遥

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和4年9月20日

議 事

議案第21号 令和4年度下野市児童表彰に関する被表彰候補児童の内申について

報告事項

- (1) 令和4年度下野市教育委員会点検・評価報告書について
- (2) 教育委員会後援等の承認について
- (3) 寄附の受入れについて
- (4) 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果（速報）の報告について
- (5) 令和4年度 中学校総合体育大会の結果について
- (6) 一般財団法人グリムの里いしばしの令和3年度経営状況報告書について
- (7) 令和3年度下野市公民館の評価について
- (8) 令和3年度下野市立図書館の評価について

そ の 他

1. 開会
2. 教育長挨拶及び報告

(石崎教育長)

- 7月19日から本日8月18日までの職務について報告する。
- ・ 7月21日、石橋中学校3年 吉田苺檜さんが市長を表敬訪問した。4月に両国国技館にて行われた「マイナビダンス・アライブ・ヒーローズ 2022 ファイナル」の「キッズ部門」で準優勝した。
 - ・ 同日、小山モラロジー事務所が来庁した。新型コロナウイルス感染症の急拡大による講演会中止に係る挨拶であった。
 - ・ 同日、第1回市いじめ問題対策連絡協議会が開催された。委員15名のうち6名が定期異動等によって入れ替わった。会長には、南河内第二中学校の田澤孝一校長が選出された。
 - ・ 同日、石橋クラブ野球スポーツ少年団が市長を表敬訪問した。「高円宮賜杯 第42回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント栃木県予選大会」で優勝した。8月8日から東京で開かれた全国大会へ出場した。
 - ・ 7月22日、図書館システムプロポーザル選定委員会を開催した。現在の図書館管理システムが今年の12月をもってリース期間及び保守対応期間が終了するため開催した。
 - ・ 7月23日、栃木SC下野市民デーが開催された。入場口手前に「下野市ブース」を設営し、記念品等を頒布した。広瀬市長が挨拶をし、下野市の子どもたちがエスコートキッズを務めた。試合は2対1で栃木SCがレノファ山口に勝利した。
 - ・ 7月24日、石橋複合施設整備事業・現場見学会を行った。約30名の関係者や市民が参加し、工事業者の案内の下、工事進捗率約70%の現場を見てもらった。
 - ・ 7月25日、下野市中学生平和研修派遣団結団式を壬生町と合同で、生徒・引率者等12名とともに行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の急拡大により中止とした。今年で3年続けての中止となった。代替事業として平和研修の内容に関わるワークブックやDVDを各学校に配布した。また、各校で折った千羽鶴は郵送し、広島市に奉納してもらった。
 - ・ 同日、第39回下野ライオンズ杯争奪学童野球ナイター大会開会式が国分寺運動公園にて行われた。試合は別処山公園及び大松山運動公園でも行われた。市内の学童野球チーム8チームが参加した。
 - ・ 7月27日、県立高校再編に関する県教育委員会による市町訪問が行われた。県教育委員会参事(高校再編推進担当)、総務課高校再編推進担当職員3名の計4名が来庁した。下

野市側は、市教育委員会職員その他、総合政策部長等も同席した。今後の急速な児童数の減少から高校再編等の必要性が高いという説明があった。

- 同日、第1回市学校適正配置推進協議会を開催した。「細谷小学校における小規模特認校の取組」の成果を検証するため、令和元年度以来3年ぶりの開催となった。そのため、14名の委員の大半は石橋地区の関係者で占められた。会長には宇都宮大学共同教育学部の小野瀬善行氏が選出された。
- 7月28日、国分寺中学校の3つの部活動が市長を表敬訪問した。柔道部は、6月の「マルちゃん杯関東少年柔道大会」において第3位となり、全国大会出場が決定した。また、7月下旬の「県中学校総合体育大会柔道大会」において団体優勝、個人は優勝4名、準優勝1名となり、それぞれ関東大会並びに全国大会出場が決まった。陸上競技部は、7月初めの「全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会」において、3名の部員が各種目3位以内に入り、関東大会出場が決定した。放送部は、3年生の蔵持り朋子さんが「第39回NHK杯全国中学校放送コンテスト」栃木県予選において朗読部門で金賞となり、全国大会へ進出した。
- 同日、香川県高松市小学校親善交流派遣団結団式を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け、3年続けての中止となった。なお、高松市からの下野市訪問は行われる予定である。
- 7月29日、大松山運動公園ラジオ体操同好会の事業見学を行った。大松山運動公園ピクニック広場において通年実施しており、会員は60名である。なお、広瀬前市長や、坂村新市長も会員である。今年は例年になく子どもたちの参加が多かったため、市内森林で捕れたカブトムシ等をプレゼントすることを同好会が計画しており、そのため、当日見学の招待を受けた。
- 同日、下都賀地区教育委員会連合会教育委員全体研修会が初めてオンライン形式で実施された。
- 7月30日、南河内テニスコートオープニング記念式典を開催した。新たに砂入り人工芝コート4面などが完成した。
- 7月31日、子ども会リーダー養成研修会開村式が開催される予定であった。もともと宿泊形式での研修会であったが、コロナ禍により2年間開催できなかったため、今年は蔓巻公園を会場に、日帰り形式に変更し研修を復活させる予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け、今年度も中止となった。翌日、石橋地区子ども

- 会育成会連絡協議会の役員 2 名が来庁し、挨拶を行った。
- ・ 8 月 1 日、市長事務引継式が行われた。前任者、後任者の挨拶の後、事務引継書を確認し、最後に引継者、引受者、立会人のそれぞれが署名を行った。
 - ・ 8 月 2 日、市教職員合同全体研修会を開催した、市役所と市内各校をオンラインで結ぶ形で開催した。
 - ・ 8 月 3 日、くら寿司出張授業「お寿司で学ぶSDGs」を国分寺公民館で開催し、24名の小学校高学年児童が参加した。主催は国分寺図書館であり、くら寿司が行っているSDGsの取組をクイズやゲーム形式で体験できるものであった。
 - ・ 同日、市学習支援室ドリームを訪問した。
 - ・ 同日、市PTA連絡協議会との懇談会が実施される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の急拡大のため中止となった。
 - ・ 8 月 4 日、教育委員会部内会議を実施した。
 - ・ 8 月 5 日、下野市中学生平和研修派遣団出発式を市役所 1 階ロビーにて行う予定であったが、中止となった。
 - ・ 同日、広瀬市長退任式が行われた。部課長級職員が出席し、終了後、広瀬市長には庁内各フロアを回ってもらった。
 - ・ 同日、市役所 1 階東メインエントランスにて広瀬市長のお見送りを行った。約 300 名の市民、市職員等が見送った。
 - ・ 8 月 7 日、下野市中学生平和研修派遣団帰着式を市役所 3 階で実施する予定であったが、こちらも中止となった。
 - ・ 8 月 8 日、坂村新市長のお出迎えを市役所 1 階東メインエントランスにて行った。約 200 名の市民、市職員等が出迎えた。
 - ・ 同日、坂村市長就任式が開催された。部課長級職員が出席し、市長からの挨拶があった。
 - ・ 同日、南河内小中学校にてふくべ細工体験活動が行われた。後期課程の美術部員約 20 名が参加した。
 - ・ 8 月 9 日、児童虐待防止講演会が、学校や保育所職員等を対象に市役所にて行われた。講師は明星大学人文学部の川松亮氏、演題は「地域機関協働による子ども虐待防止」であった。
 - ・ 同日、市小中一貫推進協議会を開催した。15名の委員の互選により、会長に宇都宮大学共同教育学部の小野瀬善行氏、副会長に自治会長連絡協議会の渡邊欣宥氏が決定した。
 - ・ 8 月 10 日、市初任者研修会を開催した。小・中・義務教育学校の新規採用教員 14 名が参加した。教育長、管理主事の話の後、現地学習として、下野薬師寺歴史館としもつけ

風土記の丘資料館を見学した。

- ・ 同日、第63回市新型コロナウイルス感染症対策本部定例報告会議が開催された。
- ・ 8月11日、白鷗大学ハンドベルコンサートが市役所1階ロビーにて開催された。市文化協会の創立15+1周年を記念して行われた。
- ・ 8月17日、しもつけウインドオーケストラ役員5名が来庁した。
- ・ 8月18日、市中学生議会が開催された。各校から4名ずつ、計16名の生徒が質問に臨んだ。

以上の報告内容について、質疑等はあるか。

(熊田委員)

市PTA連絡協議会との懇談会についてである。今回中止となったとのことだが、このことについて事務局から教育委員に連絡がなかったように思う。コロナ禍が長く続きすぎたせいで、コロナ禍以前の行事や日常を忘れてしまいそうである。もし、今後コロナ禍により中止となる事業があれば、引き続き連絡をお願いする。

(浅香生涯学習文化課長)

8月3日に予定されていた市PTA連絡協議会との懇談会についてであるが、本来ならば年2回、夏と冬に実施しているものであった。教育委員の皆様には、夏ではなく冬に実施する懇談会のほうに参加をお願いしているため、今回は開催・中止の連絡を行わなかった。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 永山委員及び熊田委員を指名

4. 前回議事録の承認

(石崎教育長)

前回議事録について、事務局に説明を求める。

(神田教育総務課課長補佐)

令和4年度第4回教育委員会定例会の議事録について、修正箇所の説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

議事録はこのとおり承認とする。

5. 議事

(石崎教育長)

議案第21号については、個人情報に関する案件なので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員異議なし)

それでは、議案第21号については、非公開として進める。

議案第21号 令和4年度下野市児童表彰に関する被表彰候補児童の内申について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長) 議案第21号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第21号は原案どおり決定する。
続いて、報告事項に移る。

6. 報告事項

(石崎教育長) (1) 令和4年度下野市教育委員会点検・評価報告書について、説明を求める。

(上野教育総務課長) 資料「令和4年度下野市教育委員会点検・評価報告書」に基づき、評価の趣旨、評価の対象及び方法、教育委員会での開催・審議状況、教育委員会会議以外での活動状況、各事業の評価シートと外部評価委員の意見、委員長からの総括意見について説明を行う。

(石崎教育長) 質疑、意見等はあるか。(特になし)
続いて、(2) 教育委員会後援等の承認について、説明を求める。

(上野教育総務課長) 8月現在、後援申請1件、共催申請1件を承認した旨、報告を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
続いて、(3) 寄附の受入れについて、説明を求める。

(上野教育総務課長) 興和株式会社 医薬事業部関東支店様からコーワ消毒液とコーワ消毒液つめかえ用をそれぞれ1,000本寄贈いただいた。市内小・中・義務教育学校に配布する。

また、サークル 虹のかけ橋様から、「書籍『聖なる衝動』外伝～小説・勝道上人の生きた時代～」を17冊寄贈いただいた。市内小・中・義務教育学校、各市立図書館と薬師寺歴史館に配布する。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(熊田委員) 寄贈された消毒液1,000本の配布内訳はどのようになるのか。
(上野教育総務課長) 各小・中・義務教育学校に配布する。なお、配布個数に関しては学校と調整し、決定する。

(石崎教育長) 17冊の書籍の配布内訳はどうなるのか。

(上野教育総務課長) 各小・中学校に1冊ずつ、義務教育学校に2冊、各市立図書館、薬師寺歴史館にそれぞれ1冊ずつ配布する。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。

(永山委員) 寄贈された書籍の作者についての情報はるか。

(上野教育総務課長) 合併前の国分寺町時代に、しもつけ風土記の丘にて行われた野外音楽劇「虹のかけ橋」の原作を書かれた作家である。なお、寄贈団体のサークル 虹のかけ橋様は、この野外音楽劇の公演をきっかけに発足したサークルである。

- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- (永山委員) 書籍については、歴史的事実とずれのある内容が書かれている可能性もある。山口文化財課長はそういった内容について詳しいと思うが、いかがか。
- (山口文化財課長) 題材は勝道上人であり、日光の男体山を開山した方である。本書籍は「歴史小説」として発行されているので、解釈の仕方によるのではないかと考える。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
- ここで諮る。(4) 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果(速報)の報告については、個人情報に関する案件なので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員異議なし)
- それでは、(4) 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果(速報)の報告については、非公開として進める。
- (4) 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果(速報)の報告について、説明を求める。

以下、非公開。

- (石崎教育長) 続いて、(5) 令和4年度 中学校総合体育大会の結果について、説明を求める。
- (石島学校教育課長) 資料「下都賀地区総合体育大会結果」に基づき、地区大会及び県大会の結果について報告する。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
- 続いて、(6) 一般財団法人グリムの里いしばしの令和3年度経営状況報告書について、説明を求める。
- (浅香生涯学習文化課長) 資料「令和3年度経営状況報告書」に基づき、理事会・評議員会の概要、維持管理業務の概要、自主事業の概要、決算関係状況等について説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。
- (永山委員) 令和3年度収支明細書についてである。「4 事業収入」の中で、公演事業収入ということで、決算額が33万5,500円になっている。続いて「1 事務事業費支出」の部分を見ると、報償費ということで、決算額が159万となっている。この表記の仕組みを教えてください。公演入場料収入は、例えば「入場チケット等が33万円売れた」というように、正味で記載がされているのか。それとも、入場料収入から報償費を引いて、実質的に事業収入となった額が33万円なのか。
- (浅香生涯学習文化課長) 公演事業収入の33万5,500円については、正味のものになっている。

- (永山委員) 例えば、3,000円のチケットが100枚出たとしたら、それをそのまま乗せるということか。
- (浅香生涯学習文化課長) そのとおりである。
- (永山委員) そうすると、例えば33万円分チケットが売れても、実際に出演料として150万を支出していることになる。その分の差額は補助金等から出ているという理解でよろしいか。
- (浅香生涯学習文化課長) 永山委員が述べたとおりである。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
- 続いて、(7)令和3年度下野市公民館の評価について、説明を求める。
- (浅香生涯学習文化課長) 資料「令和3年度下野市公民館評価報告書」に基づき、報告の趣旨、各館の運営状況、公民館の総合評価、公民館運営審議会委員の総合意見等について説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。
- (佐間田委員) 質疑というよりも意見になるのだが、述べたい。公民館では、たくさんの良い講座を開いているなどいつも思っている。この講座を、中学生の文化系部活動の地域移行に関連させることはできないか。市内中学校にはスポーツの部活動はたくさんあるが、文化系の部活動はとても少ないと感じている。スポーツが苦手だから文化部に入りたいが、興味のあるものがなく、渋々吹奏楽部や美術部に流れていく、というような事例もある。例えば、水曜日に公民館の講座を開催し、文化系部活動と生涯学習活動をつなげることができたら良いと感じた。指導者も含め、うまく連携することはできないか。
- (浅香生涯学習文化課長) 今のところ、各講座の開催時刻は主に午前中から昼間になっており、夕方からの講座開催はしていない状況である。
- (佐間田委員) 時間帯については、サークルや利用する方が決めているのではないのか。茶道など、高校の部活動にもあるような活動や講座を水曜日にスライドすれば、中学生でも参加できるのではないかと思った。
- (浅香生涯学習文化課長) サークルも、だいたいの活動の日時・曜日が固定されているのが現状である。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- それでは、大卒についてはあるが、私から補足する。国や県は、特にスポーツ系の部活動の地域移行を推し進めているが、中学校には当然文化部もある。そのため下野市では、スポーツ振興課だけでなく、学校教育課や生涯学習文化課など、課をまたいで協力・連携して、部活動の地域移行を進めていこうと考えている。
- (佐間田委員) 了承した。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)

それでは、私から一点尋ねる。南河内東公民館に対する評価はほとんどがAとBであり、良好な結果を示している。しかし、なぜか指標「多文化共生による協働のまちづくりへの参画支援」だけにCがついている。他の項目の評価が良いだけにここが非常に目立つが、何か公民館特有の事情があるのか。

(浅香生涯学習文化課長)

指標「多文化共生による協働のまちづくりへの参画支援」は、今回新たに策定した第二次公民館振興計画から盛り込まれたものである。異文化理解や国際交流などの講座・自主サークル活動などは、南河内東公民館ではまだ実施していないということで、C評価がついたと思われる。

(石崎教育長)

特有の事情ということか。

(浅香生涯学習文化課長)

南河内東公民館は小さな公民館であるが、ここ特有の良さがあり、様々な特色あるサークル活動が行われている。しかし、まだ異文化理解などの講座については取り組めていないような状況である。

(石崎教育長)

了承した。

それでは続いて(8)令和3年度下野市立図書館の評価について、説明を求める。

(浅香生涯学習文化課長)

資料「令和3年度下野市図書館評価報告書」に基づき、報告の趣旨、評価方法、評価基準、委員からの総合評価等について説明する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(石嶋委員)

総合評価(外部評価)のA評価の数の多さと、総評における「各館ともおおむね適正に運営されている」という記載に、少しずれがあるように感じる。「当該分野について優れている」とされるA評価がこれだけたくさん出ているので、総評でも「各館とも優れた形で運営されている」というように、評価と表現は一致させた方がいいのではないかと思う。教員評価のように、B評価が普通、というのなら、そういった形に評価の基準を考え直したほうがいいのではないかと思う。

(浅香生涯学習文化課長)

総評の部分を「各図書館とも優れた運営がなされていると評価します」等に直すことも考えられる。石嶋委員の指摘のとおり、図書館協議会の中でも、評価の仕方について議論が出たところではあった。今回、図書館協議会の委員の中で全てにA評価をつけた方が複数名おり、その関係で必然的にA評価が多くなっている。そのため今後「A評価は本当に優れているものに対してつける」「B評価、C評価は悪い評価というわけではなく、普通の評価である」というように、図書館協議会の中でもう一度評価の仕方についてよく検討していこうと決議された。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(熊田委員)

質疑ではなく感想であるが、述べたい。市内各図書館を図書館

ボランティアとして使わせていただいている。確かに全館全てがA評価とまでは言えないのかもしれないが、利用して困ることはない。また、ホームページへのアクセスも増えているようであり、私自身もまず検索をしてから図書館に行ったり、予約を取ったりもできるのでとても便利で助かっている。

(浅香生涯学習文化課長)

冒頭で教育長からも案内があったが、今年度はシステムの見直しの時期である。ホームページについても現在図書館利用者の方々に活用してもらっているが、より良くより使いやすいものになるように、業者の選定に当たってもそこを要件とした。より一層使いやすいホームページになっていくのではないかとと思われる。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

それでは私から一点述べる。「令和3年度下野市公民館評価報告書」と「令和3年度下野市図書館評価報告書」の2冊は作りが非常に似ているが、唯一、委員名簿の場所だけが違う。来年度からは記載場所を揃えたほうが良いと思うので、検討するよう求める。

それでは続いて、その他の連絡事項に移る。

7. その他

(石崎教育長)

事務局各課から他に連絡事項等はあるか。

(浅香生涯学習文化課長)

行事案内である。今年は9月24日(土)、25日(日)にグリムの森フェスティバルを開催する予定である。直前まで開催の判断を迷っているところであり、まだチラシ等で案内はできないが、9月の広報誌には掲載しようと考えているため、ご覧いただければと思う。飲食物の出店をなくすなど、規模の縮小はあるが、何とか3年ぶりに開催ができるよう動いているところである。

(石崎教育長)

事務局各課から他に連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。

(佐間田委員)

現在、新型コロナウイルス感染症が拡大している。学校が始まった後、先生方が濃厚接触者や陽性になった場合、待機期間についても考慮し、ある程度授業ができるようにシミュレーションはしているのか。どこの職場でもそうではあるが、人員が足りなくなると残っている方々に負担が集中してしまう。特に小学校は1クラスに1人、担任として先生がつきつきりになるため、ある程度のシミュレーションをしておかないと、この先授業を行うことが難しくなる場合もあるのではないかと心配になったため、質問した。

(石島学校教育課長)

通常先生が休んだ場合は、学校規模にもよるのだが、担任をしていない先生や教務主任、教頭が担任の代わりにクラスに入り

対応をしている。しかし、休みの先生が2人、3人と増えた場合はかなり厳しい状況になるかと思う。私も去年まで国分寺東小にいたので、実際に先生方が複数人休んだという状況を経験している。担任をしていない先生が2人いたが、その先生方も出張等があり、そんな中で先生方が3人休んだ時は非常に難しい状況であった。しかし、授業はやるべきということで、例えば1人の先生が2つのクラスを少し大きな教室に集めるなど、工夫して授業を行ったこともあった。そういったノウハウがあるため、対応できる状況については学校ごとに考えていると思うが、そこも含めてこういった方向で夏休み明けの対応ができるのかということは、市教育委員会でも検討していきたいと考えている。

(佐間田委員)

悪気があって感染するわけではないし、お互い様だとは思っているのだが、様々な職場で復帰後に雰囲気が悪くなってしまったという話はよく聞くため、学校は大丈夫かととても心配である。検討してほしい。

(石崎教育長)

他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。

(永山委員)

南河内小中学校の立ち上げの際に提案した内容について、再度提案する。実際の教育内容自体もさることながら、何か子どもたちに南河内小中学校特有の「お土産」を持って卒業させられたら良いのではないかということで、パソコンのタッチメソッドと、英語のボキャブラリーの強化について提案した。しかし、実施する先生方からするとなかなか難しいということで、実現できていない状態であると思われる。

しかし、市教職員全体研究会の際、講師の先生が「ブラインドタッチの練習はしていますか」というようなことを先生方に質問していたため、これはもう1度、タッチメソッドについてよく考えるべきではないかと考えた。というのも、私自身日々痛感しているが、ブラインドタッチができないと、キーボードと画面と資料とをあちこち見るため非常に疲れるのである。現在、大学でのレポートの提出は全てパソコンで行われる。また、これから子どもたちが様々な職に就いた際、タイピングのスピードというのはその人本来の能力とは関係なく要求されるものだと考える。その際、学校である程度タイピングのスキルを身につけて卒業した生徒と、そうでない生徒との間には相当の差がついてしまうと思う。後期課程からの3年間でも、前期課程からの9年間からでも良いが、例えばドリルのような形で少しずつ身につけさせたり、学校の中でタイピングのスピードチャンピオンを決めてみたり、遊びの要素を入れるなど工夫してタッチメソッドを子どもたちに身につけさせてほしい。他の市町村ではまだ行っていないものと思われるので、もう一度検討してほしい。本日提案した。

(石崎教育長)

今現在の実態や方向性はどうか。

(石島学校教育課長)

本市では、タブレットとセットで1人1台ずつキーボードも導入している。また、市教職員全体研修会の講師は、今までも学校の情報機器整備について国側から発信してきた方である。「タブレットがあまりにも先行して普及してしまうと、ブラインドタッチをしなくなるどころか、キーボードはなくてもいいと考えるようになってしまう。しかし、子どもたちの将来を考えるとキーボードは必ず必要である」というような講話を、私も講習会でよく聞いた。

本市の実情についてであるが、昨年度までの体制は「まずタブレットを少しでも多く使う」というところが中心であった。事実、キーボードを設置せず、タブレットを使用している学校もあった。しかし今年度はタブレット導入2年目になったということで、情報関係担当の指導主事とも相談しながら、ブラインドタッチを練習するソフト等を有効活用し、キーボードの使い方やブラインドタッチの仕方なども指導していきたいと考えている。

昨年度、英語を中心に夕方5時ごろから小中学校の先生を集めた、ゆうがおカフェという研修を実施していた。今年度は新たにICTの研修も実施しようということで、新たにICTゆうがおカフェを10月から始める予定である。学校の実情を把握し、市教育委員会からの思いも伝えながら、子どもたちに「お土産」「卒業記念品」のような形で、タッチメソッドなどについては位置付けられればと考えている。

(永山委員)

ぜひ検討してほしい。

(石崎教育長)

将来必要になるものであるため、確実に進めていきたい。また、タッチメソッドについては学校差が出ないように実施したい。

(石嶋委員)

タッチメソッドに併せて、ローマ字入力も子どもたちに身につけさせてほしい。実は私も、30代半ばで大学院に行くまでは日本語入力でキーボードを打っていた。しかし、他の大学院生はブラインドタッチでローマ字入力をしていたためタイピングが非常に速かった。ローマ字のほうが日本語入力よりも使うキーが少ないため、タイピングが速いのだということに気が付いてから、私も一からローマ字入力を覚え直した。ローマ字入力を覚えることは、最初は大変かもしれないが、使えると便利であるのでぜひ実施してほしい。

(石崎教育長)

他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。

(熊田委員)

寄附の受入れについてである。今回寄附いただいた消毒液は新型コロナウイルスに対して効果があるものなのか。市内学校では手洗いうがいを励行しているとは思いますが、消毒液が備え付けてあると、消毒液だけで新型コロナウイルスを除去できると考えてしまう方もいると思う。この消毒液が新型コロナウイルス

スに対してあまり有効ではない場合、感染拡大を防止できない可能性がある。

(上野教育総務課長)

今回の消毒液については、新型コロナウイルス感染症対策用であると確認がとれている。なお、今回各 1,000 本ずつ寄附いただけたのは、当該消毒液のパッケージデザインがこれからリニューアルするという理由もある。旧デザインのもものはパッケージが違うだけで中身はしっかりした消毒液なので、学校で使ってほしいという要望があった。

(熊田委員)

新型コロナウイルス感染症対策用であり、デザインが変更になるため寄附いただけるということなら安心した。

(石崎教育長)

他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、以上でよろしいか。(全委員承認)

次回の教育委員会は、9月20日(火)午後1時30分からの予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時30分閉会。

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人